

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	石川県金沢市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	金沢市文化遺産活用推進計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>金沢市歴史遺産保存活用マスタープラン（平成21年3月策定）及び金沢魅力発信行動計画（平成24年2月改訂）を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、下記の取組を実施する。また、実施計画期間中は、下記の取組を通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。※金沢市歴史遺産保存活用マスタープランはURL（<a href="http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11104/bunkazaimain/torikumi/torikumi.html">http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11104/bunkazaimain/torikumi/torikumi.html</a>）を、金沢魅力発信行動計画はURL（<a href="http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11001/miryokuhasshin/miryokuhasshin.html">http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11001/miryokuhasshin/miryokuhasshin.html</a>）を参照。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 金沢芸妓文化発信事業</li> <li>2. 伝統芸能支援サポーター育成事業</li> <li>3. いしかわ伝統芸能音楽祭</li> <li>4. 伝統芸能(邦楽器)普及のためのワークショップ</li> <li>5. 「伝統文化を活かした地域活性化」シンポジウム</li> <li>6. 金沢民謡交流・公開事業</li> <li>7. 加賀獅子保存継承事業</li> </ol>			
6 実施体制			
<p>金沢市文化財保護課が本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。また、補助事業は金沢市文化遺産活用推進実行委員会（会長：西川廣、構成団体：金沢市観光協会・金沢市音楽文化協会・金沢市民謡保存連合会・百万石夏おどり実行委員会・加賀獅子保存協会・加賀万歳保存会）が行う。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額：119,774 千円	平成31年度申請額：2,408 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、今後市民の力による地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、行政と民間団体、無形民俗文化財保持団体による連携・協力体制が構築されるとともに、「金沢市観光戦略プラン2016」で目標としている金沢旅行全般の満足度の向上（目標値「とても満足」50%）や再来訪回数（リピート率）の向上（目標値60%）に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>歴史文化基本構想：H20年度に「金沢市歴史遺産保存活用マスタープラン」を策定済み。 歴史的風致維持向上計画：H20年度に「金沢市歴史的風致維持向上計画」を策定済み。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	金沢市文化スポーツ局文化財保護課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	金沢地域の年間入り込み客数	関連事業:		②		
目標値1:	【現状値】 平成 27 年度 10,060,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 11,000,000 人					
設定根拠1:	平成27年度の金沢地域の年間入り込み客数の約10%増を目指す。					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
10,221,000 人	人	人	人	人	人	
17%	石川県集計中					
目標区分2:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分2:	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	金沢市の年間宿泊客数	関連事業:		②		
目標値2:	【現状値】 平成 27 年度 2,906,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3,200,000 人					
設定根拠2:	平成27年度の金沢市の年間宿泊客数の約10%増を目指す。					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
3,193,504 人	人	人	人	人	人	
98%	石川県集計中					
目標区分3:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分3:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	金沢市文化遺産活用推進実行委員会を構成する団体等における平成28年度以降の新規入会者数	関連事業:		①②		
目標値3:	【現状値】 平成 28 年度 60 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 360 人					
設定根拠3:	平成28年度の新規入会者数と同数を毎年積み上げることを目指す。					
進捗状況3:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
140 人	177 人	人	人	人	人	
27%	39%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	金沢芸妓文化発信事業	実施団体：	一般社団法人金沢市観光協会					
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度					
事業概要：	金沢芸妓文化の魅力を広く発信し、後継者育成やお茶屋利用促進に繋げるため、金沢芸妓を紹介したパンフレットを作成する。パンフレットはMICE等の会場となる都市型ホテルや関連商品を扱う旅行会社、大学・高校、金沢芸妓関係のイベント会場等で配布する。							
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	金沢芸妓人数の増員							
目標値：	平成 28 年度		44 人		⇒	平成 33 年度	54 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
46 人	45 人	人	人	人	人			
20%	10%							
事業②：	伝統芸能支援サポーター育成事業	実施団体：	金沢市音楽文化協会					
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度					
事業概要：	人材育成のための講演会を開催するほか、各種イベントに裏方や講座の指導者補助として参加し、専門家の指導による実務研修を通して、ボランティアスタッフの養成を図る。							
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	受講者の中から金沢市音楽文化協会主催の各種事業の企画・運営に関わり活動するスタッフとして毎年5人を新規登録者として増加させ、完成年度までに実際の活動者数を40人とする。							
目標値：	平成 28 年度		15 名		⇒	平成 33 年度	40 名	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
20 名		平成30年度事業不採用のため不実施。 平成30年度以降増加0人			名	名		
20%								
事業③：	いしかわ伝統芸能音楽祭	実施団体：	金沢市音楽文化協会					
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度					
事業概要：	金沢の伝統邦楽と洋楽の融合による新しい文化を創造し、個性豊かな芸術文化のまちづくりを目的に、音楽文化協会加盟団体、伝統文化指導者、後継者育成講座受講者による成果発表及び文化発信の機会として「いしかわ伝統芸能音楽祭」を開催する。							
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	伝統芸能団体の新規入会者を完成年度までに100人とする。							
目標値：	平成 28 年度		0 人		⇒	平成 33 年度	100 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
20 人	40 人	人	人	人	人			
20%	40%							

事業④：	伝統芸能(邦楽器)普及のためのワークショップ				実施団体：	金沢市音楽文化協会	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度	
事業概要：	金沢大学と連携し、外国人留学生を対象とした「いしかわ金沢学講座」のノウハウと実績を活かし、外国人観光客等へのアプローチや指導方法をワークショップで実践を重ね、平成32年までに金沢の観光メニューとして試行する。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	体験ワークショップの来場者に対し入会者を募集し、金沢市音楽文化協会の新規会員を毎年10名以上増加させ、完成年度までに計50名増やす。						
目標値：	平成 28 年度		0 人		⇒		平成 33 年度 50 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度
20 人	平成30年度事業不採用のため不実施。 平成30年度以降増加0人				人	人	
40%							
事業⑤：	「伝統文化を活かした地域活性化」シンポジウム				実施団体：	金沢市音楽文化協会	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度	
事業概要：	文化財関連の著名講師や大学教授等を講師として招へいし、江戸時代から伝統芸能の盛んな金沢における文化財を活かした事業展開における現状や未来をテーマとしたシンポジウムを開催し、伝統芸能の普及啓発を図る。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	伝統芸能団体の新規入会者を毎年20名増加させ、完成年度までに計100名増やす。						
目標値：	平成 28 年度		0 人		⇒		平成 33 年度 100 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度
20 人	平成30年度事業不採用のため不実施。 平成30年度以降増加0人				人	人	
20%							
事業⑥：	金沢民謡交流・公開事業				実施団体：	金沢市民謡保存連合会	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度	
事業概要：	ふる郷伝承民謡交流大会を開催し、一般市民への普及啓発を図る。特に小学生を中心とした児童の積極的な参加を募り、後継者の育成につなげる。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	金沢市民謡保存連合会の児童会員数						
目標値：	【現状値】 平成 28 年度		15 人		⇒		【目標値】 平成 33 年度 50 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度
20 人	30 人	人	人	人	人	人	人
14%	43%						

事業⑦：	加賀獅子保存継承事業			実施団体：	加賀獅子保存協会	
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	金沢市指定無形民俗文化財である加賀獅子の伝承および公開を目的に加賀獅子共演会を開催する。各保存会に伝わる技と芸の披露に加え、金沢市近郊から獅子舞を招いて交流を図るとともに、地域の獅子舞の振興に寄与する。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	加賀獅子保存協会に加盟する団体への新規入会者数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 4 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
25 人	25 人	人	人	人	人	
81%	81%					